

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90225	民族舞踊学研究	4単位 通年	1・2	講義	呉屋淳子

■テーマ パフォーマンス研究を通じて、民族舞踊について理論的、創造的視点から学ぶ。

### ■授業の概要

本講義では、リチャード・シェクナーの唱える「パフォーマンス」観を通して、「パフォーマンス・アーツ」「日常生活におけるパフォーマンス」「文化的パフォーマンス」について考察し、現代社会における舞台芸術について理解を深める。

### ■到達目標

- ・文献講読とディスカッションを通して、舞台芸術としての「パフォーマンス」の概念について理解することができる。
- ・現代社会における民族舞踊を取り巻く支配的言説に対して、新たな価値観を発信していくことができる。

### ■授業計画・方法

〈前期〉

1. ガイダンス、「批判的理論とパフォーマンス」
  2. 「文化的パフォーマンス」(1)
  3. 「文化的パフォーマンス」(2)
  4. 演劇と文化人類学(1)
  5. 演劇と文化人類学(2)
  6. エスノグラフィー(1)
  7. エスノグラフィー(2)
  8. 身体(1)
  9. 身体(2)
  10. ミュージアムと展示(1)
  11. ミュージアムと展示(2)
  12. ジェンダー(1)
  13. ジェンダー(2)
  14. ロール・プレイング(1)
  15. ロール・プレイング(2)
- 定期試験は実施しない。

〈後期〉

1. 「パフォーマンスとアイデンティティ」(1)
  2. 「パフォーマンスとアイデンティティ」(2)
  3. 「パフォーマンス研究」(1)
  4. 「パフォーマンス研究」(2)
  5. 争われる戦争の記憶—「エラノ・ゲイ」「昭和館」と嶋田美子(1)
  6. 争われる戦争の記憶—「エラノ・ゲイ」「昭和館」と嶋田美子(2)
  7. アメリカ「発見」の逆民族誌的パフォーマンス(1)
  8. アメリカ「発見」の逆民族誌的パフォーマンス(2)
  9. 長野オリンピックと開会式と国民国家(1)
  10. 長野オリンピックと開会式と国民国家(2)
  11. 東京の『ミス・サイゴン』—観客の作り方と作られ方(1)
  12. 東京の『ミス・サイゴン』—観客の作り方と作られ方(2)
  13. 介入への実践を目指して
  14. 映像研究(1)
  15. 映像研究(2)
- 定期試験は実施しない。

### ■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・教科書は必ず購入し、各回の授業終了時に指示するページを十分に読み込んでおくこと。
- ・教科書や参考文献、授業で紹介する文献以外にも、パフォーマンス研究に関する文献を積極的に読むこと。

### ■成績評価の方法・基準

□方法 提出物(レジュメおよびレポート等)、講義への取り組み方で総合評価する。

レジュメおよびレポート(60%)、講義の取り組み方(40%)

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究所(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

### ■教科書・参考文献(資料)等

□教科書 (前期) 高橋雄一郎 2011 『パフォーマンス研究のキーワード—批判的カルチュラル・スタディーズ入門』  
世界思想社

(後期) 高橋雄一郎 2005 『身体化される知—パフォーマンス研究』せりか書房

□参考文献 リチャード・シェクナー 1998 『パフォーマンス研究：演劇と文化人類学の出会い』高橋雄一郎  
訳、人文書院。

京都造形大学舞台芸術研究センター 2005 『舞台芸術』(8)、月曜社

Victor Turner 2001 *The Anthropology of Performance*, New York: PAJ Publications.